

3DCT で解剖から学ぶ腹部エコーの基本とコツ 血管を指標にした走査法と超音波所見をマスターする

岡庭信司(編)

兵庫医科大学 消化器内科 特別招聘教授,
日本超音波医学会 理事長

飯島尋子

ついに出了！ 岡庭先生の腹部超音波画像と 3DCT 画像のコラボ書

—集まれ若人！ 超音波は診断にこれほど役に立
つ！

超音波検査は、診察中に患者さんとの対話や触診と同時にを行い、そのまま診断、治療に直結するリアルタイム診断法である。近年、初期診断や腹部救急には CT が汎用される時代である。しかし超音波は自分の知識と自分の手で診断治療に直結する。これほどまでに患者に優しく有用な診断法があるだろうか。しかし手技が難しいと思われている。つまり画像の全体像が見えないために、難しいと思われているだけである。これを解決させるため、CT 画像を 3D で再構成し超音波画像をコラボさせ、その画像を動画で見ることができる本書は、格段に超音波解剖の理解が進む。さらに岡庭先生自ら走査しているスキャンテクニックを Web で視聴できる。動画では、3DCT 画像や手元のプローブ走査法の基本からフリーエアまで勉強できる。まさにベーシックから応用まで学べる教本となっている。

超音波を行っている仲間で「岡庭信司先生を知らない人はいない」といっても過言でないレジェンドである。「3DCT で解剖から学ぶ腹部エコーの基本とコツ」は、レジェンド岡庭先生が長年の臨床経験と豊富な知識さらに幾多の超音波教育経

験をベースとし書き上げられたサイエンスとアートに満ちあふれた一冊である。

本を開くとまずは走査法(動画付き)しかも画像が美しいので明確に解りやすい。超音波の教本によくある見えやすい体型の方以外での検査のポイントまで写真入りで丁寧に解説されている。次に臓器別の診断のポイントは、CT 画像から構成された 3D 写真と超音波の比較画像もシェーマとともに記載されとても解りやすい。

医師、技師、学生すべての超音波の仲間へ。患者さんへ多くのメリットをもたらす超音波診断をマスターするには、本書をまずはエコー機器の横に置き仲間同士で勉強してみてもはどうだろうか。さらに上級者には必ずや教育指導法に役立つように構成されている。私自身も本書を用いて研修生教育を行っている。さあ、本書で超音波をマスターしよう。



●B5/頁 293/2023 年
定価：5,500 円
(本体 5,000 円＋税 10%)
[ISBN978-4-7581-1195-9]
羊土社 刊